

予算におけるメリットシステムの導入について

～もっと効率的・効果的な行政運営をめざして、
節約や工夫を奨励する制度をはじめます～

横浜市では、事業を行う際の工夫や、新たな財源の確保により、予算の節減が認められる場合には、その節減額の1/2又は全額を、節減の工夫等を行った局区の翌年度以降3か年間の予算に上乗せする「予算におけるメリットシステム」を15年度から導入します。

これにより、職員が、徹底したコスト意識を持ち、これまで以上に、様々な知恵をだし、事業をすすめる上での工夫を重ねることで、より効率的・効果的な行政運営につながるものと考えています。

※政令指定都市では、福岡市、神戸市に次いで3番目の取り組みになります。

1 横浜市の「予算におけるメリットシステム」の概要

- 事業の工夫等により節減が見込める場合には、以下のように、節減の工夫等を行った局区の翌年度以降の予算に上乗せします。
 - 節減実績(財源確保額)及び見込額の「1/2」を翌年度以降3か年間の予算に上乗せします。
 - ただし、取組の内容や努力が顕著な場合には「全額」を翌年度以降3か年間の予算に上乗せします。
- 顕著な工夫や努力が認められる組織又は職員を表彰します。
- 庁内におけるノウハウの共有化を図るため、参考となる事例をホームページに掲載します。

2 期待される効果

- 予算に対する意識改革……………『予算の執行段階で、更に工夫を重ねる』
- より効果的・効率的な手法を考える……『より少ない経費で、最大の効果を得る』



市民に信頼される効率的・効果的な行政運営の推進

これまでは...

予算の執行上の工夫による節減や財源の確保

予算編成の時に節減等の取組の結果も参考に審直節減すると、予算が減らされる?

執行の工夫に取り組む、「いい循環」がおきにくい。
経営感覚・コスト意識を高め、執行上の工夫や節減努力が評価され、活かされる制度が必要

これがは...

予算の執行上の工夫による節減や財源の確保

工夫すれば、やりたかった事業ができる、だったらもっと工夫しようか・・・
「いい循環」

メリアド
システム導入

節減額、財源確保額の 1/2又は、全額 を翌年度以降3か年間の予算に上乗せ
新規事業や事業の充実に充てられる

横浜市都市経営局報道担当 2003.04.02 作成

問合せ先 TEL 045-671-2330

(c) 2003 City of YOKOHAMA. All rights reserved.